

「人間らしさを大切にした
施術を行っていききたいと思います」

院長 **塩川 徹**

【塩川院長の足跡】

地元出身。様々な仕事を経験した後、東洋医学の専門学校に進学する。その後は鍼灸整骨院、整形外科での勤務を経て、平成15年に「しおかわ鍼灸整骨院」を開院。はり師、きゅう師、柔道整復師・キネシオテーピング協会公認トレーナーなど様々な資格を有し、旭区バドミントン連盟公認トレーナーとしての活動も行っている。

Shop Data

しおかわ鍼灸整骨院

大阪府大阪市旭区大宮 2-26-16

TEL / FAX 06-6955-3731

☎ 0120-69-3731

URL: <http://www.honekun.com>



にはこうしないといけない」とか、「何とか楽になって頂こう」と頑張りすぎていました。しかし、そのために刺激の強すぎる施術をしてしまうこともあって、自分が思っているほど成果があがらない時期もあったのです。

渡辺 なぜだったのでしょうか。

塩川 今思えば痛みの部分だけしか見ていなくて、利用者さんの身体全体の状態が見えていなかったんですね。当たり前ですが、利用者さんの身体は機械ではありませんし、百人おられれば百通りの身体です。それが当時の私は理解し切れていなかったんですよ。一般的には冷

やした方がよいと思われる痛みでも、利用者さんが「昨日は身体が冷えた気がする」と仰ったり、全身を診て身体が冷えていると感じた場合などは、逆に温めてあげると嘘のように痛みが取れる場合があるんです。私どもに出来ることは「利用者さんの自己治癒力を引き出すお手伝い」であって、言葉にすると「治してあげます」ではなく、「治ってね」という気持ちなんです。30歳そこそこの人間が痛みをとってあげるなんて…あのころの私は何様のつもりだったんでしょうね(笑)。今は施術を押しつけるのではなく、利用者さんを第一に考えた施術を行って

います。そういう思いで施術をしていくと、これが面白いように痛みが取れていくのですよ。ですから今は毎日の施術が楽しくて仕方がありませんね。

渡辺 それでは最後に将来的な展望をお願いします。

塩川 この地域で一番愛される鍼灸整骨院にしていきたいですね。院を大きくするとかではなく、たくさんの方が気軽に集まれる場所を目指していきたいと思っています。

渡辺 本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。

(2006年5月取材)

利用者さんと垣根のない関係を作り上げる

▼「人と人が初めて会ったときは自己紹介するのが当たり前だと思います」。そう語るの「しおかわ鍼灸整骨院」の塩川院長だ。医療の現場というのは医者が患者の上に立っているケースも多い。だが、院長はそうした垣根の出来た関係になることなく、利用者と距離が近い関係でありたいと思っているのだ。そのため同院では、初診の利用者さん



と対するときには、担当するスタッフが名刺を渡し、自己紹介をするという。「鍼灸整骨院へ来て名刺を渡されることにびっくりされる利

用者さんも多いですが、そうすることで利用者さんからの信用につながればと思っています。ですから当院では利用者さんに「先生」ではなく、名前と呼ばれることもあるんですよ。それに名乗ることが自分への責任感へもつながりますからね」と語ってくれた。▼そうした利用者さんと良好な関係を作り上げることを院長が目指す「人間らしい」院であり、同院のこだわりなのである。

